

令和7年度 2級造園施工管理技術検定 2次試験 解答試案

【問題 1】

- (1) (イ) (A) 1.2
(B) 70
(C) 最長と最短の値の平均値
(ロ) (a) ○
(b) しゅろ縄
(c) くぎ打ちのうえ
(d) 鉄線
(e) 上
(ハ) 1) A 追肥
B 緩効
2) 高木の場合、枝張りの外周線直下、円形になる地上投影部分を施肥位置の目安にする。その円形に沿って深さ 20cm 程度の溝を掘って、その溝底に平均的に輪状に肥料を敷き込む輪肥、放射状の直線溝に施肥を行なう車肥、円形の所々に縦穴を掘って施肥を行なう壺肥がある。
- (2) (イ) A 穴上げ
B 根巻き
C 植穴掘り
(ロ) ① 根鉢の軽量化と崩れの防止
② 移植先での雑草繁茂を抑える
(ハ) A 支持根
B 断ち
(二) 幹に近い枝から外枝へ、梢から下方へと進め、太い枝や強固な枝、折れやすい枝などは、枝の元から枝先方向に向かって 3cm ほどの間隔で縄を巻きつけながら枝を幹に徐々に引き付けていく。
(ホ) 樹木の裏や表、周辺の景観などを考慮して、見栄えが最もよくなるよう樹木を立込み、植栽位置の微調整を行なう。
(ヘ) A 半分
B 水極め
(ト) 鉢の直径に合わせて土を盛り上げ、土手を作る。あるいは幅の浅い溝を掘り、根鉢内に水が十分に行き渡るように灌水を行なう。この時、決壊して水が流れ出ないよう注意する。

- (3) (イ) ①正常な葉形、葉色を保ち、萎縮、徒長、蒸れがなく、生き生きとしていること。
②全体に均一に密生し、一定の高さに刈込んでいること。
- (ロ) ①砂を厚さ4~5cm程度平に敷くことで、水はけをよくする。
②目土を入れて表面の凹凸を均し、表面排水を確保できる勾配をとる。
- (ハ) 目地張り
- (二) • 畑土など良質な土壤を葉が半分ぐらい隠れるようにかける。
• 均し板、ローラー等
- (4) (a) 天候その他に基づく作業不能日数
(b) バーチャート工程表

【問題 2】

- (1) ①一日の作業上の注意事項や禁止事項。
②危険の予知、及び指差呼称の励行の指示。
③一日の作業手順や作業工程の確認。
④一日の作業における災害の事例など。
⑤互いの体調や個人保護具のチェック。
・・・等
- (2) (イ) ①運転中の車両系建設機械に接触する恐れのある箇所に、労働者を立入らせてはならない。
②誘導者を置く時は一定の合図を定め、誘導を行なわせるとともに、運転者もこの合図に従う。
- (ロ) (a) ○
(b) 大きく
(c) 重心
(d) 6
- (ハ) 地盤は平坦な場所とし、地盤の強弱、埋設物破壊の危険がある場合は、転倒防止のため必要な広さ、及び強度を有する鉄板等を敷設し、アウトリガーを最大限に張り出す。
- (二) • ワイヤーロープ
• フック つりチェーン
• 卷過ぎ防止装置
• 過負荷警報装置、その他の警報装置等
- (3) (イ) 保護メガネ(ゴーグル)、すね当て、草刈り用エプロン、腕カバー
・・・等
- (ロ) A 暑さ
B 塩分
- (ハ) キックバックの恐れがあるので、エンジンを停止し、不意に刈刃が作動しない状態にし、刈刃に巻きついた草や異物を取り除く。